

## 地域社会との連携

自然と共存・共栄する社会は、沖縄に住み、沖縄を愛する皆との協力・協働があって、初めて実現するものと私たちは考えます。地元沖縄の大学や高校、博物館、そして行政と、研究をはじめ幅広い連携を通じて、次世代の環境共生型社会の実現に貢献しています。



## 教育普及活動

モニタリングで得られたデータや知見は、皆のものです。OKEON ちゅら森プロジェクトは、沖縄の自然の多様性を、若い世代を中心に伝える活動にも力を入れています。



## 沖縄科学技術大学院大学(OIST)について

沖縄県恩納村に位置する、5年一貫制の理工学分野の博士課程教育を提供する大学院大学です。国内外から優れた研究者が集い質の高い研究を行っています。世界の科学技術の向上に貢献するとともに、沖縄のイノベーションを牽引することを目的として、2011年に日本政府によって設立されました。2022年にはノーベル賞受賞者も誕生しています。



OKINAWA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY  
沖縄科学技術大学院大学

# 沖縄の生物多様性 モニタリングプロジェクト

未来を考える OIST の取り組み

OKEON 美ら森プロジェクト  
Okinawa Environmental  
Observation Network

沖縄科学技術大学院大学 (OIST)  
環境科学・インフォマティクスセクション  
〒904-0495 沖縄県国頭郡恩納村字谷茶 1919-1



<https://okeon.unit.oist.jp>

OIST | Core Facilities



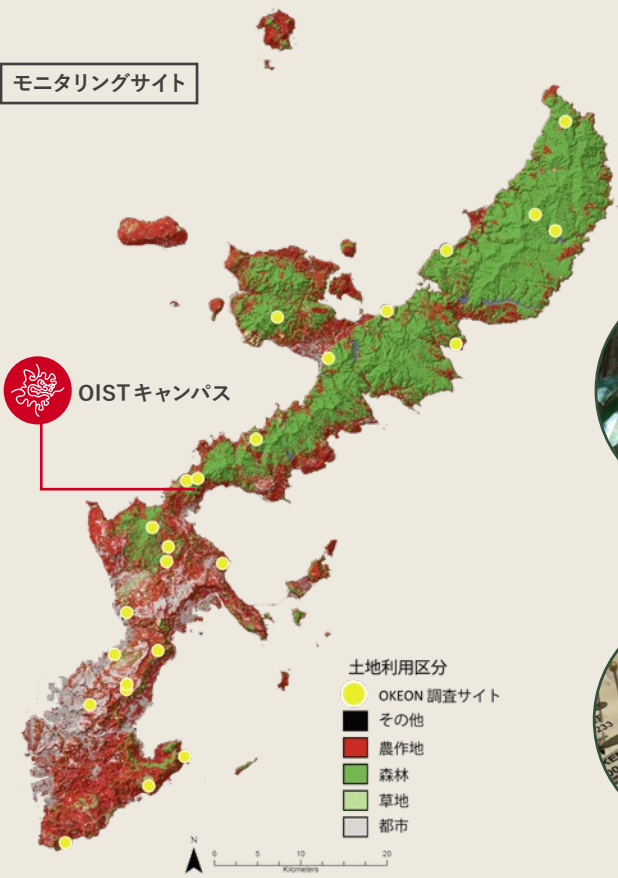
COI-NEXT



OKEON 美ら森プロジェクトは、沖縄科学技術大学院大学(OIST)が進める陸域の生物多様性モニタリングプロジェクトです。

沖縄本島に24のモニタリングサイトを設置し、島の北から南までを網羅して、365日ノンストップで沖縄の自然を記録し続けています。

モニタリングサイト



OIST キャンパス

- 土地利用区分
- OKEON 調査サイト
  - その他
  - 農作地
  - 森林
  - 草地
  - 都市

目指しているのは、沖縄の自然環境に対して私たち人間の活動がどのような影響を与えるのかを理解することです。長期にわたって自然を記録することで、20年後30年後の生態系を理解するためのデータを得ることができ、より良い保全策を考えることにつながります。

OKEON 美ら森プロジェクトでは、沖縄の多様な自然環境を様々な方法で記録し、そのデータを用いて調査・分析・研究をして、地域社会と共有しています。



昆虫類採集トラップ

24のモニタリングサイトに72基の昆虫トラップを設置して、昆虫類の採集調査をしています。2週間に一回、サンプルを回収し、研究室に持ち帰って保管しています。新種の昆虫発見や、ヒアリなどの外来性昆虫の監視にも役立ちます。



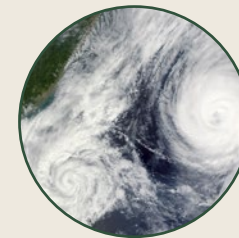
カメラトラップ

自動撮影装置で、哺乳類を始めとした動物の分布やその活動を記録します。自然環境への外来種の影響などを解明するための基礎資料を提供します。



サウンドトラップ

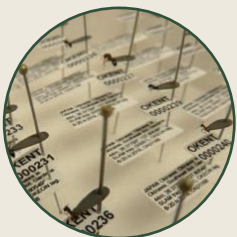
樹木に設置した箱型の音声記録装置で自然の音を自動で録音し、音の景色(サウンドスケープ)を記録します。こうして得られた音声データはこれまでに数万時間に及びます。膨大なデータは、人工知能(AI)を使って解析し、鳥類を始めとする生物の分布や活動の季節変化などを明らかにします。



気象観測装置



植生調査

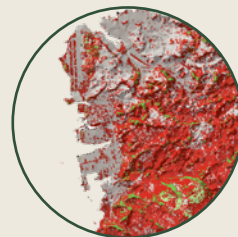


アリ調査など

OKEON 美ら森プロジェクト  
Okinawa Environmental Observation Network



遺伝子解析システム



地理情報システム



データベースシステム



大規模サンプルの処理・管理システム

OKEON 美ら森プロジェクトのこれまで

